

中央大学 商学部 会計学科 (指定校推薦入試)

私が中央大学を目指したきっかけはとても単純でした。入学当初は高校卒業後に就職した兄の影響もあり、私自身、特にやりたいこともなかったため、就職しようと思っていました。しかし、テニス部の尊敬する先輩が中央大学に入学したという、単純な理由で私も中央大学を目指しました。

中央大学に入学するために、定期テストでよい結果を残すことはもちろん、いろいろな検定にも挑戦しました。私はあまり計画性がなく、受験できるときに次々と申し込んでしまったため、自分を追い込みすぎてしまうこともありましたが、おかげで進路選択の際に周りよりも自由に選ぶことができました。もちろん計画的に勉強することが一番大切ですが、多少背伸びして難しい検定に挑戦してみることも大切だと思います。また、部活動や課外活動の経験も大切にしてください。五商では普通科目に加え、専門科目もあるため、部活動との両立は大変ですが、部活動と勉強のメリハリをつけて集中すれば、両立も可能です。部活動に参加せず勉強だけに集中していれば、中央大学、もしくはもっと上位の大学に入学することも可能だったかもしれませんが、部活動や課外活動の経験は自分を成長させるだけでなく、自分だけの個性として実際の面接試験などのときに大きなアドバンテージになります。いろいろな経験をして、他人との違いを作りましょう。

中央大学を目指したきっかけは単純でしたが、部活動と勉強の両立を目指し、日々努力を重ねる中で、私は自分がやりたいこと、学びたいことが徐々に鮮明になってきました。そして三年間簿記を学び続けるうちに、もっと会計について深く学びたいと思うと同時に、外国語の勉強やサークル活動に興味があったため、中央大学商学部会計学科を志望しました。志望校について調べる際には、あまりインターネットの情報に頼らず、自分で学校に赴いたり、卒業生や在校生から直接話を聞いたりしてみるとよいと思います。私は1年生と2年生の時にオープンキャンパスに行きましたが、1年生の頃と2年生の頃では感じ方が全く違いました。1年間で自分の価値観は大きく変化するので、1年生の時にいった学校をもう一度訪ねてみてください。また、オープンキャンパスには可能であれば2日間通ってみるとよいと思います。大学の規模は大きく、1日では分からないことも多いです。実際に通う感覚も味わえるので、お勧めします。なお、在校生や卒業生と話す機会があれば積極的に話してみてください。私は、部活動の先輩や教育実習の先生など、身の回りに中大生が多くいたため、積極的に話を聞き、オープンキャンパスでは聞けない生徒目線の率直な感想を聞くことができました。自分の人生がかかっている所以志望校はよく吟味してください。

後悔しない進路選択をするためには、広い視野を持つことが大切です。自分の行きたい学校を見つけた後も、他の大学の調査をしておきましょう。五商は本当に進路選択の幅が広いです。あまり知られていませんが、中央大学よりも難関といわれている、法政大学や明治大学などの有名大学にも五商から目指すことができます。自分の今の成績では無理、自分には今の志望校が一番向いているという思い込みは捨てて、長い時間をかけて進路について深く考えてください。そして、先生や家族、友達に相談してください。大学の噂話でも、有名人の出身大学の話でも構わないと思います。少しずつ大学や企業に興味を持ちましょう。受験時期は辛いですが、自分の進路選択に後悔する方がもっと辛いと思います。あとで後悔しないように全力を尽くしてください。

専修大学 商学部 会計学科 (全商協会大学特別推薦入試)

私は、全商協会大学特別推薦入試という方法で専修大学に合格しました。この方法は全商協会において全商検定1級をどれだけ取得しているかで各大学への推薦者が選考されます。全体の流れとしては、まず、全商協会に志望理由書等の書類を提出します。そこで推薦が決まると、専修大学では、書類審査、大学での面接を経て、合否が決まります。

私が苦労したことは面接練習です。私は面接がとても苦手だったので、進路指導部の先生だけではなく、担任の先生や、国語科の先生とも練習をしました。面接は、質問されたことを正しく聞き取り、考え、伝える力が求められます。質問される内容をある程度予測し、答えを考えておきますが、決して暗記だけでは面接は乗り越えられません。たくさん練習することで、何を質問されても答えることができる柔軟さを身に付けることができます。面接練習にやりすぎはありません。練習すればするだけ自信がつきます。そのおかげで、私は本番の面接で緊張はしましたが、いつも通り話すことができました。また、面接時間が意外と短く、練習の時よりも落ち着いて臨むことができました。

私は面接が一番苦労しましたが、特に皆さんに伝えたいのは、進学先の選択肢を広げるために、取るべき資格検定を決め、それに合格するということです。たくさん取りたいと思い、たくさんの資格検定を申し込んだのに、時間的な余裕がなくて、結局しっかりと準備しない状態で受験するという経験をしたことがある人もいます。そうならないためにも、自分が目指す資格検定が何かを考え、それに集中して確実に合格する方法を私はお勧めします。進学において、私があった方が良くと思う資格検定を具体的にあげると、一番は全商英検1級です。全商推薦はAグループとBグループに分かれています。AとBの違いは全商英検1級を持っているかどうかです。ですから、これを持っていれば、大学の選択肢は大きく広がります。このように、進学は決めているけれど、どんな方法で行くかは決めていないという人には、この方法をお勧めします。なお、全商推薦に絞っている人は、全商検定1級にできるだけ多く合格すると推薦される確率は高くなります。しかし、これはあくまで一例です。自分の希望する進路に進むために、どうすればよいのかしっかり考えて、計画的に行動してください。

最後に、自分が希望する進路を実現するには必ずどこかで努力しなければなりません。しかし、努力するタイミングはそれぞれだと思います。早い時期からコツコツと努力し続けた人は、きっと進路先の選択肢が多く、進路活動において、周りよりスムーズに進学先を選ぶことができるでしょう。逆に1年生、2年生の時に勉強を疎かにしてしまった人は、3年生になって苦労することになるでしょう。1年生の皆さんは、3年生まであと1年あります。この1年の過ごし方次第でいくらかでも自分の進路先の選択肢を広げることができます。2年生の皆さんは、本格的に進路活動が始まる夏休み明けまであと半年あります。この半年間で、検定もまだまだ間に合います。これからは進路に向けて現実的に考えなければならない時期に入りますが、焦らずじっくり考えて、自分が納得できる進路先に進んでほしいと思います。希望の進路先に進めるよう頑張ってください。応援しています。

駒澤大学 経済学部 商学科 (特性評価型・公募制推薦入試)

私の高校生活における経験から、進路活動をするにあたって大切だと思ったことを5つ伝えます。

まず初めに、私は五商に入学した当初から大学進学を考えていました。入学してすぐに親と進路について話しました。それは、親に承諾してもらわないとスムーズに進められないと考えたからです。進学する場合はどのくらい学費がかかるのか、誰が負担するのか、などを一緒に考える必要があると思います。直前になって慌てないように早いうちから話しておくことをお勧めします。進学か就職が決まっていなくても調べて共有するだけでも全然違います。私は親に「目標をもって大学に行くのなら学費を出すけど、ただ行くだけなら出さない」と言われ、自分の人生を考えるきっかけにもなりました。

2つ目は自分のスキルを高め、アピールポイントを養うこと。就職や大学進学などの際にはそれなりのスキルを求められることが多いと思います。資格取得や課外活動などに積極的に取り組んでください。これらの有無により進路選択の幅が大きく変わります。部活動やボランティア、習い事や特技など、どれか一つでも長期的に経験しておくことをお勧めします。私は生徒会活動や硬式野球部活動、在校生代表スピーチ、資格取得など様々な経験をしたため、話す内容について困ることはありませんでした。

3つ目は学校生活を楽しんで、信頼できる友達を作ってください。進路活動は精神的にかなり負担が大きいです。高校受験とは比べものになりません。友達と励まし合ったり、大学の情報を共有したりすることで視野が広がります。一緒にオープンキャンパスに出かけたり、成績面で切磋琢磨し合ったり、お互い高め合えるような友達がいればモチベーションも上がります。

4つ目は色々なことにチャレンジしてください。私は部活動の夏の大会と検定の時期が重なり、受験できなかった検定があります。2か月後、その1つの検定の有無で大学選考の結果が左右された現実直面しました。大学進学は妥協した分だけ自分に跳ね返ってきます。妥協せず色々なことにチャレンジしてください。何から始めたらよいか分からないという人は、朝決まった時間に起きる、夜決まった時間に寝る、遅刻をしないように心掛ける、などから始めるのはいかがでしょうか。

5つ目は先生方と良好な関係を築くことです。いざという時、最初に手を差し伸べてくださるのは先生方だと思います。入社試験や入学試験には書類審査の他、必ずと言っていいほど面接があります。私は多くの先生方に面接練習をお願いしたり、出願書類をきめ細かく添削していただいたりして、とても感謝しています。合格の報告をした際には、目に涙を浮かべながら喜んでくださった先生もおり、先生方を信じてご指導いただきよかったと心から思いました。自分が困ったときや追い込まれたときに頼れる先生と、コミュニケーションをとり良好な関係を築いてください。誠意をもって接していればきっと手を差し伸べてくれます。

進路活動というのは、人生の中でとても重要です。進路先は自分から切り開いていくものです。自分が満足できる結果を手に入れられるかどうかは、日頃の取り組み方にかかっています。しっかり自分と向き合って、時には他人を頼り、後で後悔することのないよう、積極的に行動してください。そして支えてくれた方々への感謝の気持ちを忘れずに。